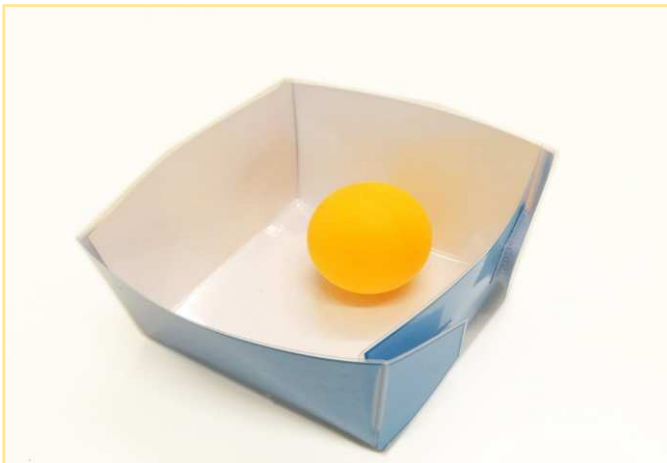


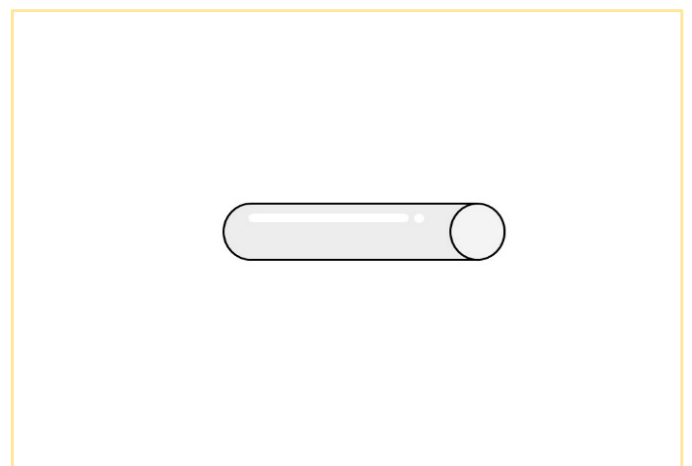
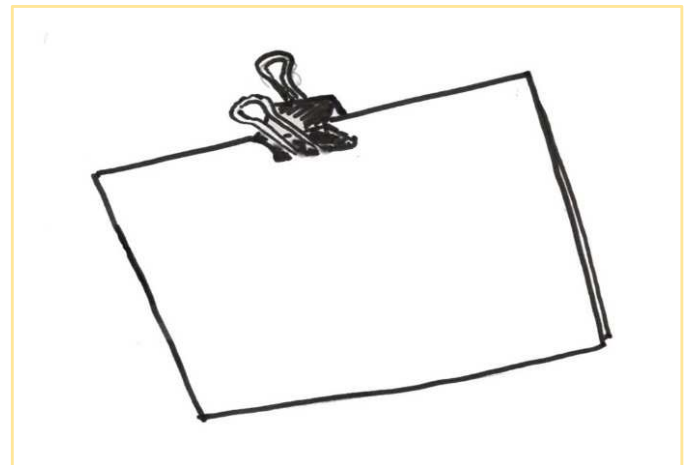
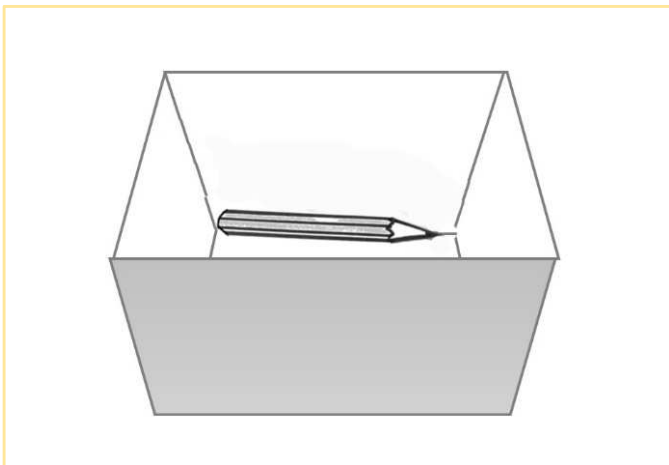
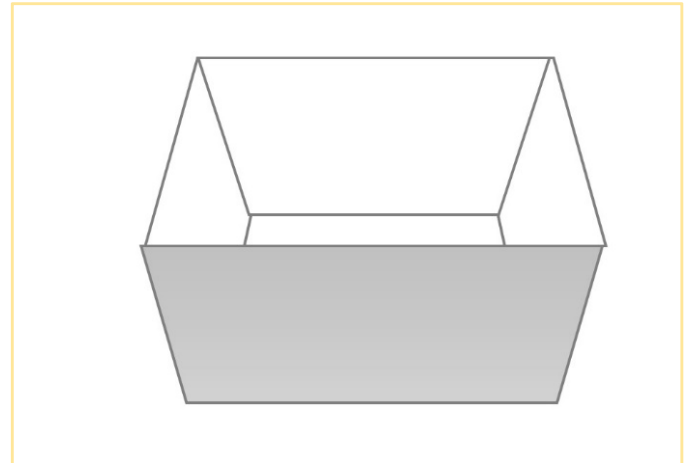
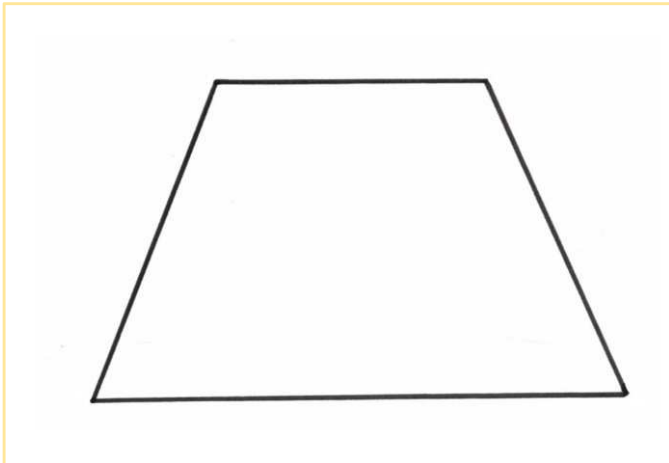
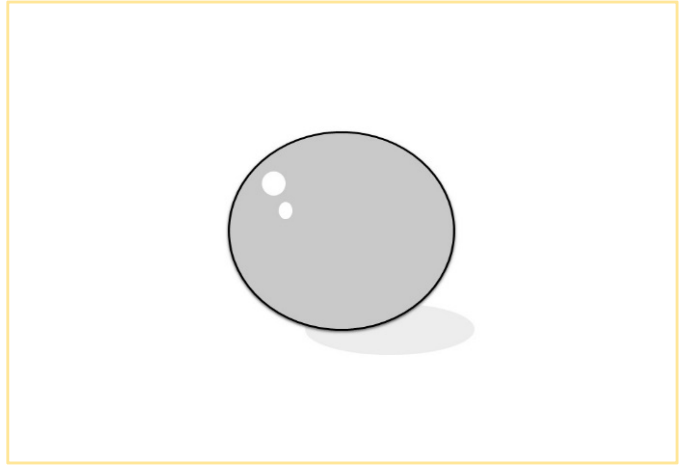
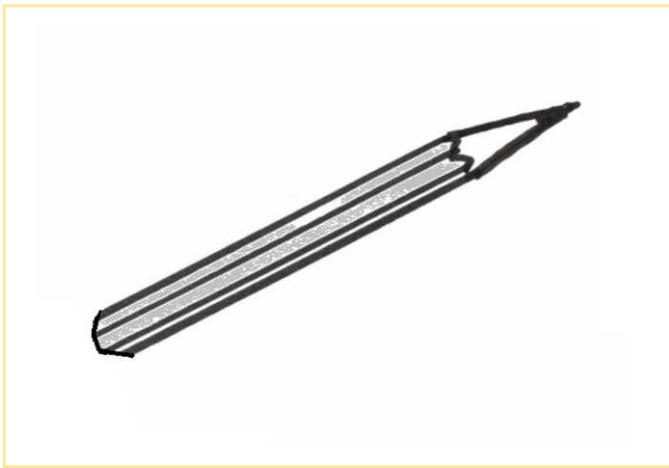
簡易版情報理解のアセスメントツール作成キット

【必要な物・道具】

鉛筆(一本の半分にする)、キャップ(2個)
卓球ボール(2個。転がりやすい。検討中)
クリップ(2個)、紙(A4を二回折ってA6サイズにする)
デコレーションボール(10個。チップになるものならなんでもいい)
瓶(円柱。ピンポン玉が入るもの)
ホワイトボードマーカー(黒)、ジッパー付きのビニール袋
面ファスナー(ベルクロ、マジックテープ)
カラープリンター、ラミネータ、ラミネートシート
ハサミ、カッター



※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。



※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。

えんぴつ

ぼーる

くりっぷ

きやつぷ

かみ

はこ

ぼーる
をください

ドアをノック
しなさい

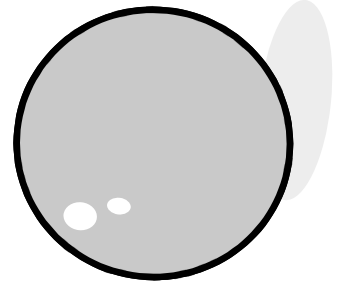
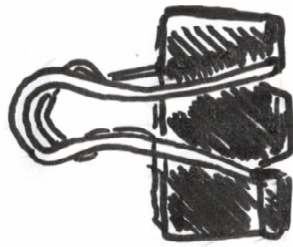
はこをゆかの
うえにおきなさい

鉛筆を箱の中に
いれなさい

□ えんぴつ

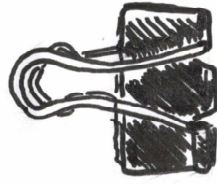
□ くりっさつ

□ ほーる

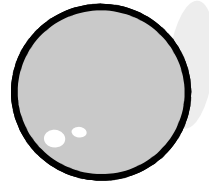




えんぴつ



くりっぷ



ボール

箱に紙を入れる

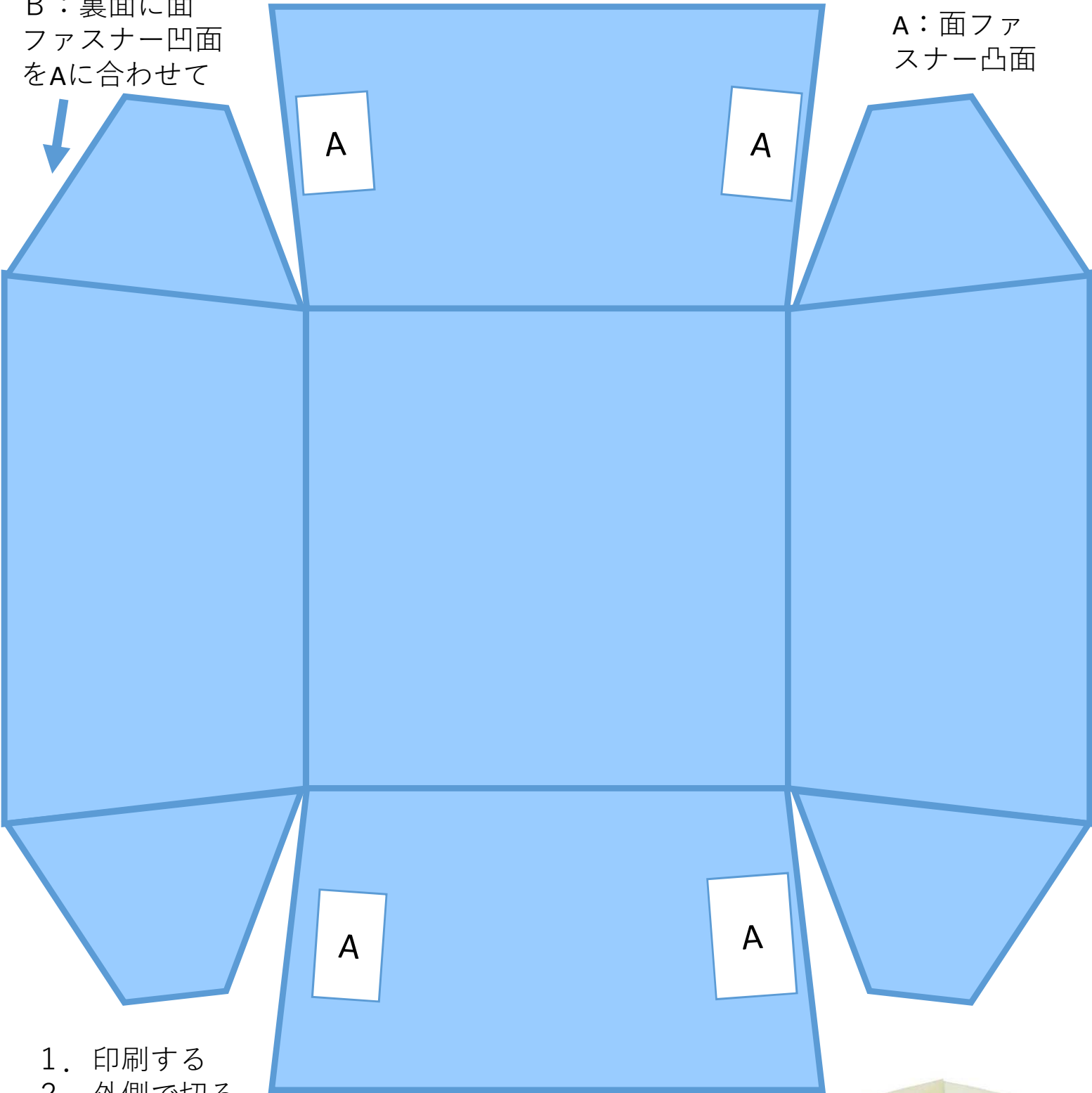
紙の上に鉛筆をおく

箱を床におく

簡易版情報理解アセスメントツール具体物（箱）

B：裏面に面ファスナー凹面をAに合わせて

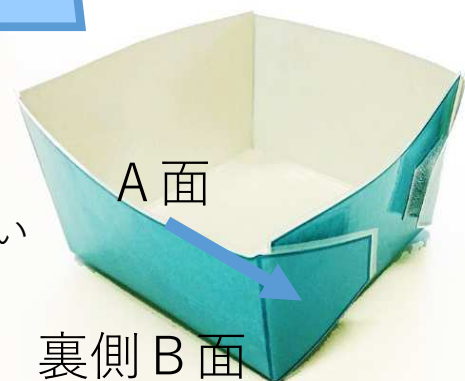
A：面ファスナー凸面

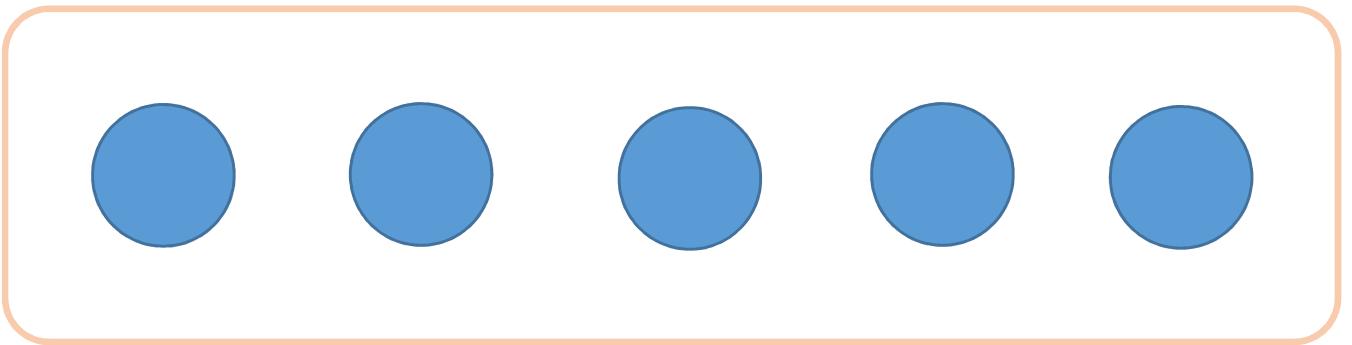
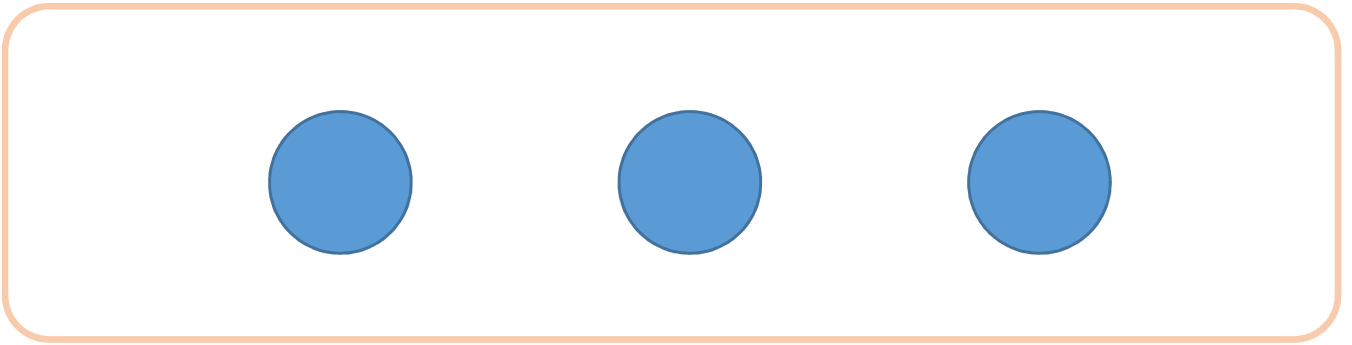
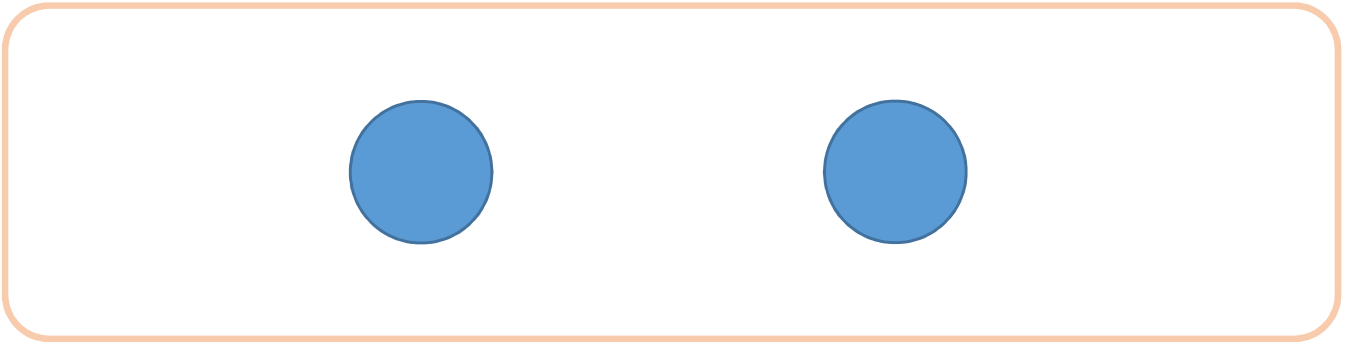
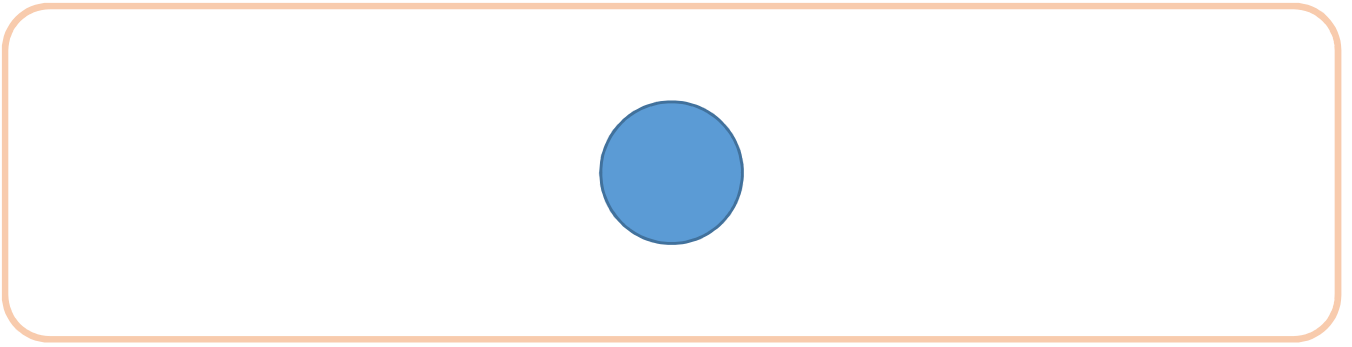


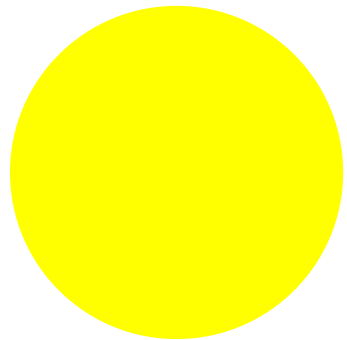
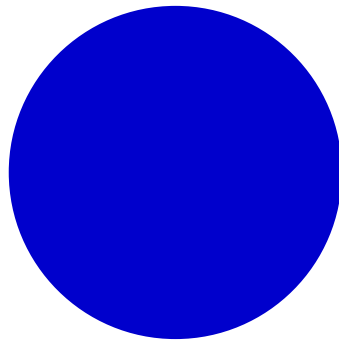
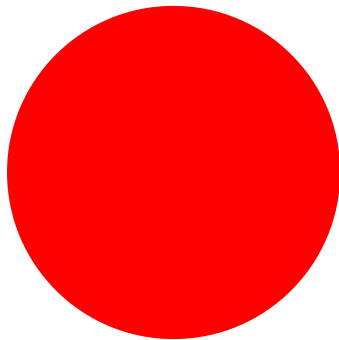
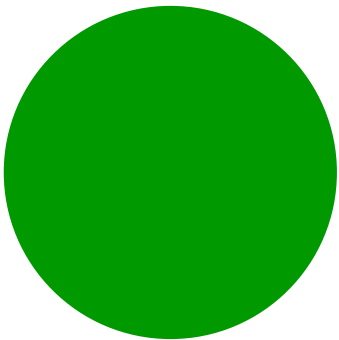
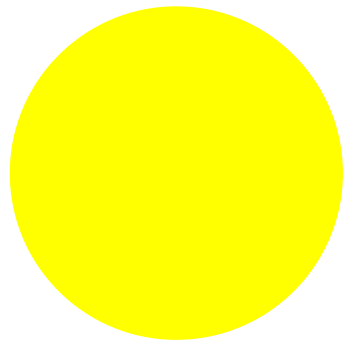
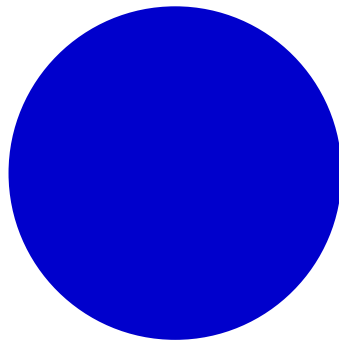
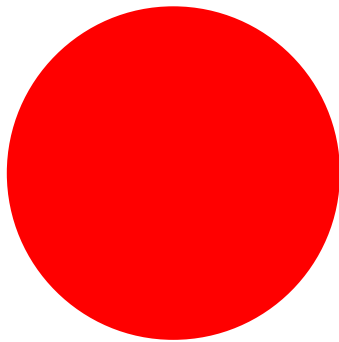
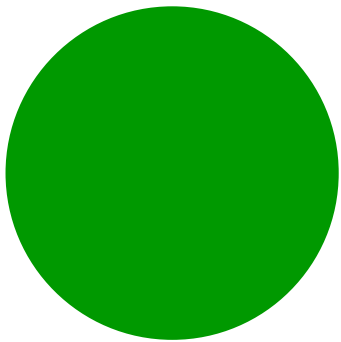
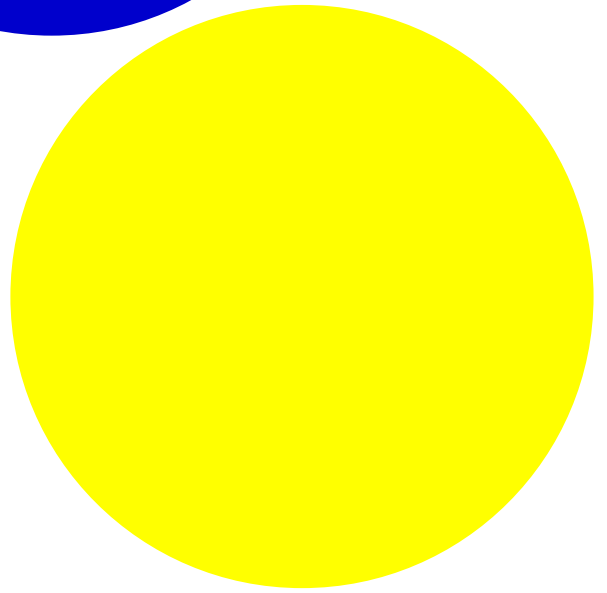
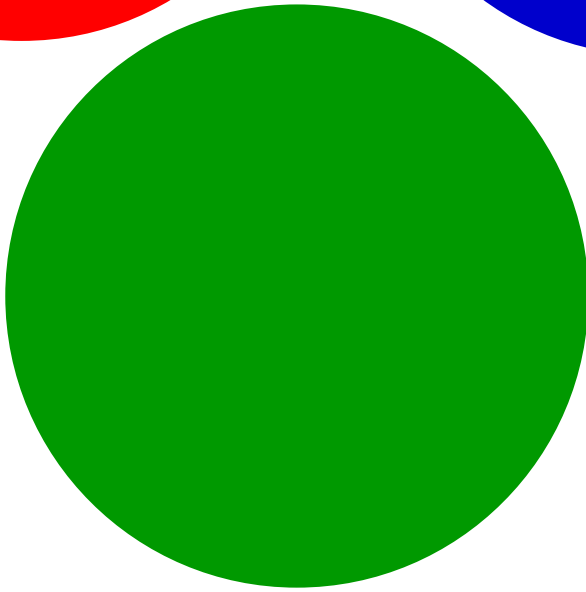
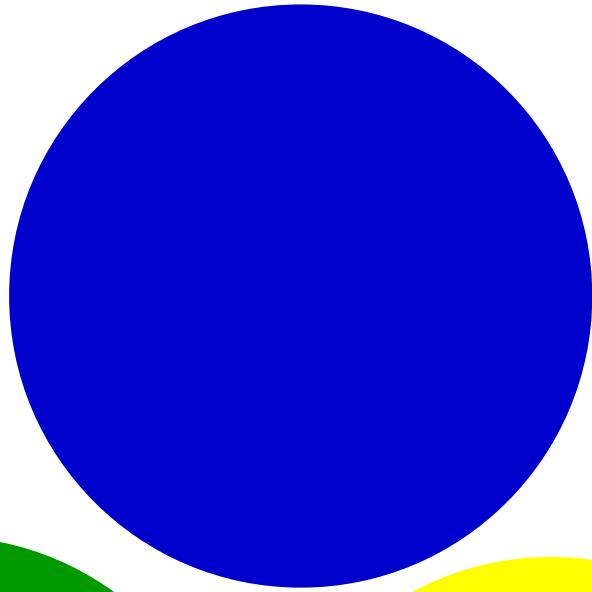
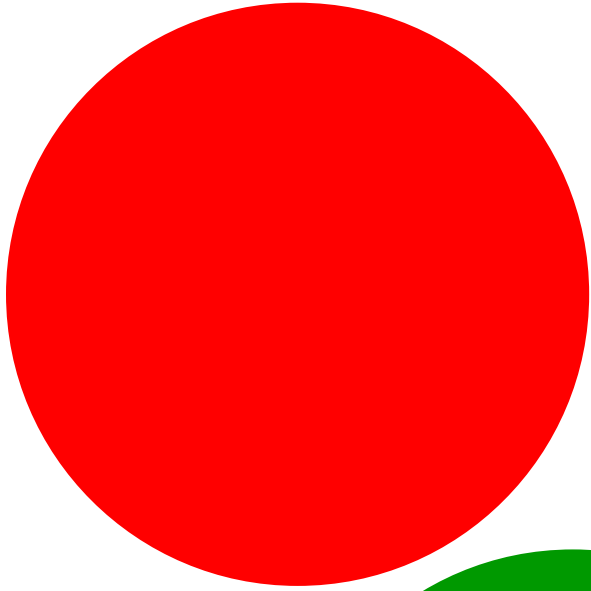
1. 印刷する
2. 外側で切る
3. ラミネートする
4. 外側で切る
5. 折る※

※先のとがった金具で裏面に折り目になぞると折りやすい

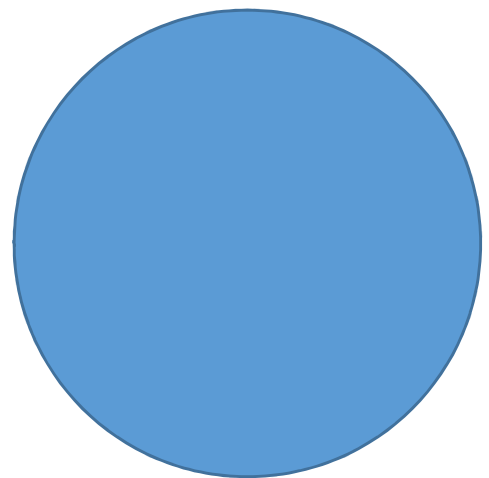
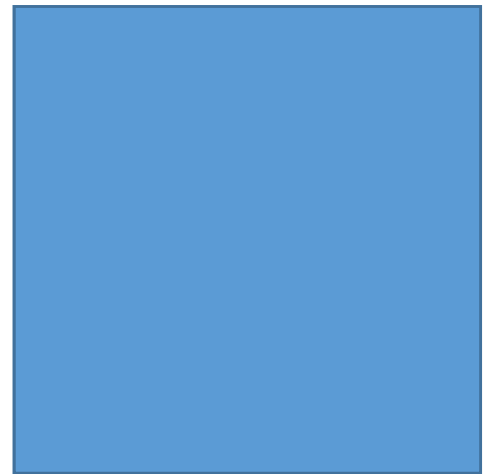
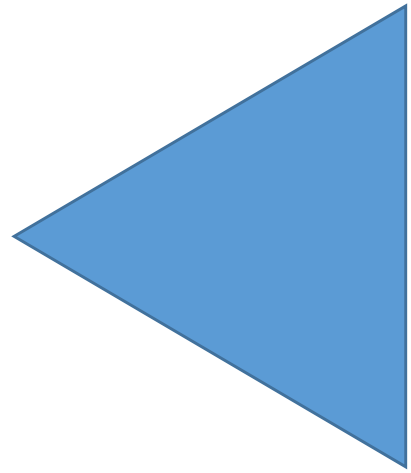
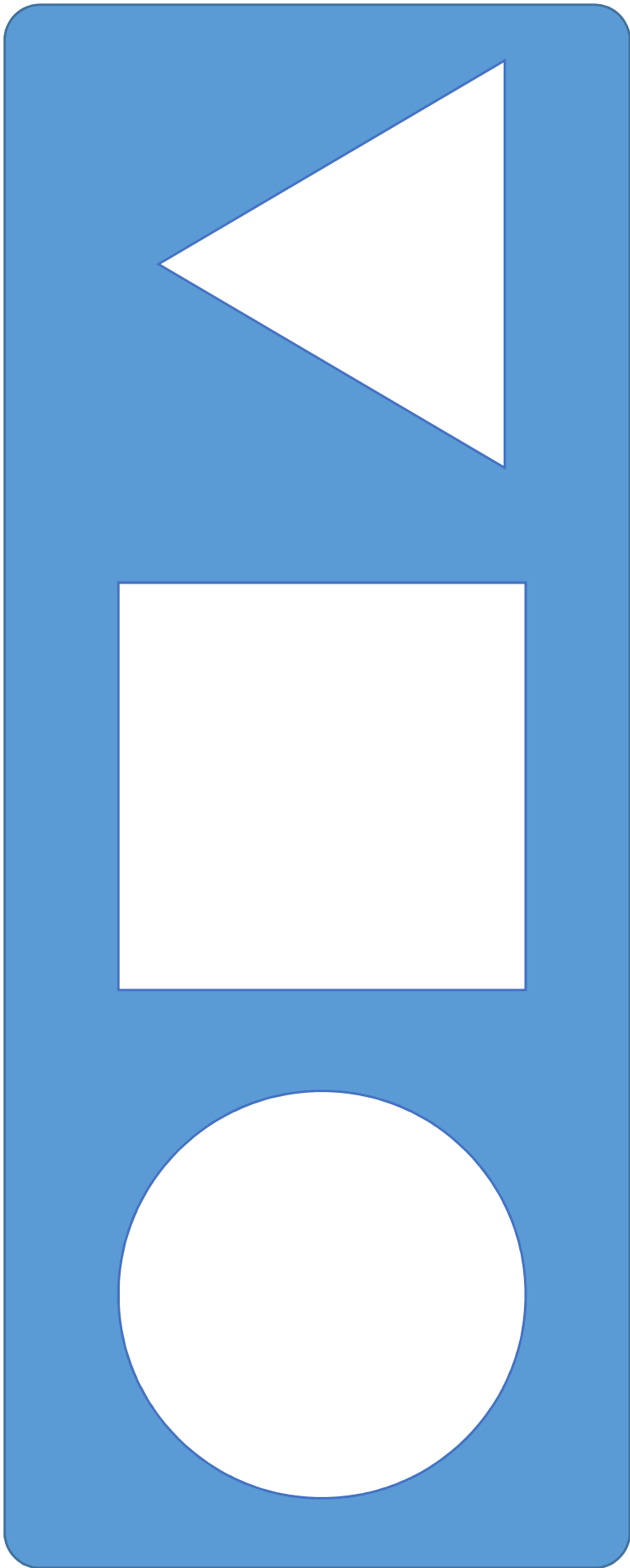
6. A・Bに面ファスナーを貼る
7. A・Bを貼り合わせるとできあがり







※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。



※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。